

## 第13回水泳競技施設等調査特別委員会会議記録

日 時 令和5年2月21日(火曜日)  
場 所 水戸市議会 第1・第2委員会室

午後 零時 8分 開議  
午後 零時16分 閉会

付託事件

(1) 水泳競技施設及び複合スポーツ施設のあり方に関する事項

1 本日の会議に付した事件

(1) 最終報告書(案)について

2 出席委員(24名)

委員長	袴塚孝雄君	副委員長	後藤通子君
委員	滑川友理君	委員	萩谷慎一君
委員	土田記代美君	委員	田中真己君
委員	中庭次男君	委員	佐藤昭雄君
委員	綿引健君	委員	田口文明君
委員	森正慶君	委員	鈴木宣子君
委員	黒木勇君	委員	高倉富士男君
委員	飯田正美君	委員	大津亮一君
委員	渡辺政明君	委員	栗原文隆君
委員	五十嵐博君	委員	小川勝夫君
委員	安藏栄君	委員	田口米藏君
委員	松本勝久君	委員	福島辰三君

3 欠席委員(1名)

委員 内藤丈男君

4 委員外議員出席者(なし)

5 説明のため出席した者の職, 氏名

市長	高橋靖君	副市長	田尻充君
副市長	秋葉宗志君		
市長公室長	小田木健治君		
総務部長	園部孝雄君		
財務部長	白田敏範君	財政課長	佐藤直明君

市民協働部長 川 上 幸 一 君 市民協働部  
技 監 兼  
体 育 施 設 整 備  
課 長 青 山 和 夫 君

6 事務局職員出席者

事 務 局 長 天 野 純 一 君 総 務 課 長 加 藤 清 文 君  
議 事 課 長 大 嶋 実 君 議 事 係 長 武 井 俊 夫 君  
書 記 大 内 し お り 君 書 記 昆 節 夫 君

午後 零時 8分 開議

○袴塚委員長 それでは、引き続き大変御苦労さまでございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから第13回水泳競技施設等調査特別委員会を開催いたします。

議事に先立ちまして、内藤委員が所用のため欠席との連絡がございますので、御報告いたします。

それでは、これより議事に入ります。

本日は、前回の委員会において正副委員長に御一任いただきました、最終報告書の案文を取りまとめ、お手元に配付させていただきました。ただいまから、内容について後藤副委員長に朗読をお願いしますので、お聞き取りのほど、お願い申し上げます。なお、着座のまま朗読させていただきますので、御了承願います。

それでは、後藤副委員長、よろしく申し上げます。

○後藤副委員長 では、読み上げます。

水泳競技施設等調査特別委員会最終報告書（案）。

さきの令和元年第2回水戸市議会定例会において当委員会に付託されました水泳競技施設及び複合スポーツ施設の在り方に関する事項の調査の経過等について、水戸市議会会議規則第101条の規定に基づき最終報告します。

本市においては、これまで各種スポーツ施設の整備とともに、スポーツ大会等の開催を通じ、市民の健康づくりや様々なスポーツの振興に努めてきたところであります。しかし、本市における公営のプールは、震災等により青柳公園屋内プール、小吹運動公園屋内プール及び大串貝塚ふれあい公園プールの3か所となっており、市民が水に親しみ触れ合う機会や水泳競技を楽しむ機会の減少が懸念され、歴史的にも水泳が盛んな本市にとって大きな課題となっております。

このような現状を踏まえ、令和元年6月25日の第2回市議会定例会において、議長を除く全議員をもって当委員会を設置し、水泳競技施設及び複合スポーツ施設の在り方に関する事項について付託を受け、議会が調査終了を議決するまで継続して調査を行うことが認められたものであります。

以来、今日まで13回にわたり委員会を開催し、水泳競技施設及び複合スポーツ施設の在り方に関する事項について、慎重に調査、検討を重ねてまいりました。

このうち、第1回から第10回までの調査の経過等については、既に令和3年6月の第2回市議会定例会において中間報告を行っておりますので、内容の重複を避け、今回は、その後開催しました委員会調査の概要を中心に取りまとめ、最終報告します。

第11回委員会は、令和3年8月26日に開催し、当委員会に付託されました令和元年陳情第5号「新水戸市民プールの建設を求める陳情」について審査し、陳情者の求める屋内プール整備の実現可能性については、さらなる調査、検討が必要であるものの、市民プールの建設を求める趣旨については賛同できるとして、採択の結果、趣旨採択すべきものと決しました。また、委員からは、「本陳情の趣旨採択を踏まえ、執行部においては、第7次総合計画の策定の中で、新たな市民プール整備の位置づけについて十分に検討されたい」等の意見が出されました。

第12回委員会は、令和5年2月10日に開催し、最終報告書（案）の作成について、正副委員長に一任することに決定しました。

第13回委員会は、令和5年2月21日に開催し、最終報告書（案）を確認しました。

当委員会の現在に至るまでの調査の概要については、以上のとおりであります。

当委員会におきましては、令和元年陳情第5号「新水戸市民プールの建設を求める陳情」の審査をはじめ、本市プールの利用状況、水泳競技施設の公認基準、他市の事例、県内における大会の開催状況等について、多様な観点から議論を進めてまいりました。

執行部においては、これまでの当委員会での意見を十分踏まえ、市民スポーツの振興や健康づくりの推進に資する本市の水泳競技施設等の在り方や第7次総合計画における新たなプール整備の位置づけについて、さらなる調査、検討を求めるものであります。

終わりに、当委員会の調査に関しまして、御協力いただきました関係各位に対し、心から感謝の意を表しまして最終報告とします。

令和5年3月。

水戸市議会議長，須田浩和様。

水泳競技施設等調査特別委員会委員長，袴塚孝雄。

○袴塚委員長 ありがとうございます。

それでは、ただいま最終報告書の朗読が済みましたが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○袴塚委員長 ないようですので、第1回市議会定例会に最終報告させていただきます。なお、本会議における最終報告につきましては、私が概要報告書を朗読させていただくこととなりますので、御承知おきください。

この際、市長が出席されておりますので、市長から発言をよろしくお願いします。

高橋市長。

○高橋市長 袴塚委員長、後藤副委員長のリーダーシップの下に、各委員の皆様方におかれましては、13回にわたって、令和元年陳情第5号「新水戸市民プールの建設を求める陳情」の審査をはじめ、本市プールの利用状況、水泳競技施設の公認基準、県内における大会の開催状況等について、多様な観点から積極的かつ活発な御審議をいただき、誠にありがとうございました。

水泳競技施設につきましては、市民が水に親しむことができる環境の充実に図るとともに、競技力の向上や大規模大会の開催と誘致に取り組むため、競技団体から屋内公認プール新設の要望が寄せられたものと認識しております。

新たな水泳競技施設等の整備に当たりましては、整備後の管理運営費も含め多額の事業費を要することから、みと魁プランに位置づけた各事業の進捗状況や財政状況に加え、整備後の効果や財源の確保策等も含め、施設の規模、機能などについて、本市の水泳競技施設等の在り方や第7次総合計画における新たなプール整備の位置づけ等について、当委員会の意見を十分踏まえながら調査、検討をしていきたいというふうに考えております。

最後になりますが、当特別委員会のこれまでの御尽力に対しまして、改めて感謝を申し上げますとともに、今後とも引き続き御指導、御鞭撻をいただきますようよろしくお願いを申し上げます。私のほうからの御

礼の挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

○袴塚委員長 ありがとうございました。

それでは、当委員会を終了するに当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

当特別委員会の調査に当たりましては、後藤副委員長、私の下で一生懸命やってまいりました。委員の皆様様のこれまでの御協力に対し、改めて感謝を申し上げます。また、13回にわたって慎重な御協議をいただきましたことに対しましても、心から感謝を申し上げます。委員長として職務を全うできましたのも、委員の皆様方の御支援、御協力のたまものと心から改めて感謝を申し上げます。

ただいまの報告書にもございましたけども、今後、執行部の皆様におかれましては、各委員から出されました御意見等を十分に踏まえながら、第7次総合計画の中におきましても、引き続き多様なスポーツの振興に向けて、ますます御尽力されますことを心からお願い申し上げる次第であります。

甚だ簡単でございますけども、御礼の御挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

以上をもちまして、水泳競技施設等調査特別委員会を閉会いたします。

大変御苦労さまでした。ありがとうございました。

午後 零時16分 閉会